

「浦島太郎の話について」

世界でこの話はよく聞いて特に東アジアの文化で。内容は少し違うけどでも話の最後はいつも同じ終わりだった。それは一番の考えることだ。なぜ人間は好奇心が強いだろうかと思う。西洋国ではあることわざが常識であった。それが「好奇心で、猫は死んだ」ということわざ。その意味はこの昔話は付属見えて出来る。浦島太郎は死んでなかったが代わりにおじいさんに変身された。それは普通の人間の性格だろう、誰かに玉手箱がもらえられ受ける人は普通にあげたいだろう。少々を考えて浦島太郎は亀を助け竜宮城に歓迎して大切なお客さんみたいにした。出て時にお土産ももらった。なのにただ乙姫様の言葉を忘すれ罰がされた。酷い結果だったと思う。普通に人々はいいい事がして代わりに後でいい事がもらえ可能性があると聞いた。ではゆっくり考えてくださいこの物語の主点は何なんだろうだったと思う？約束は絶対に守ることか？